

環境に係る情報協議会

国営施設機能保全事業『幌加内地区』

1. 事業の概要（案）

【事業の目的】

◎本地区の基幹的水利施設は、直轄かんがい排水事業「幌加内地区」（S 40～S 53）により造成されたが、近年、施設の機能低下が生じている。
このため、本事業は、施設の機能低下が生じているダム・頭首工・用水路について長寿命化対策を実施することにより、施設機能の保全を図り、農業生産の維持及び農業経営の安定に資するものである。

【主要工事の概要】

- ◎受益面積 1, 6 2 8 h a
- ◎ダム 1 カ所（改修）
- ◎頭首工 1 カ所（改修）
- ◎用水路 1 条 L = 7. 7 k m（改修）

2. 地域の環境に対する考え方

（幌加内町第6次総合振興計画及び幌加内町田園環境整備マスタープランより）

【現状と課題】

- ◎幌加内町は、自然公園に指定されている朱鞠内湖や広大な森林といった大自然、美しい自然景観を保持しており、特色ある動植物が生きる豊かな生態系が保たれている。
- 自然の仕組みに適合する適切な自然環境の保全が必要となっている。
- 生活する良さを共有するとともに、訪れる多くの人にやすらぎを感じてもらうために、本町の印象に沿う景観的な配慮を必要としている。

【環境保全の基本的考え方】

- ◎自然体系の保護、自然浄化力の維持に配慮した河川や農業排水路の維持・改修を目指す。
- ◎公共施設や街路の整備にあたっては周辺景観や全体のバランスに配慮した意匠を工夫する。

3. 環境との配慮への配慮

①魚類生息等に配慮した仮設工（施工時の配慮）

- ◎用水路の補修工事は、濁水処理施設を設置し、濁水の流出対策を行う。
- ◎工事施工前、施工中、施工後は、水質のモニタリング調査を行い、事業による水質への影響を把握する。

②地域景観と調和した塗装色の選定（設計時の配慮）

- ◎ダム取水塔の鋼材塗装や頭首工操作室の屋根塗装の際は、水辺や森林及び農地等の周辺景観との調和に配慮した塗装色を採用する。